

明日を拓く

林業を担う人材を育てる

島根県立農業大学校
宇山教授に聞きました。



島根県立農業大学校 森林管理科
教授 宇山 由夫 さん

問 林業科の魅力は

答 多くの資格が取得でき就職に有利です。国も林業再生に目が向いていますので、その担い手となる林業従事者の養成は喫緊の課題になります。

そこで、24年度からは、2年次の専攻実習で、森林プランナーコースと森林エンジニアコースの選択制を設け、充実した現場実習に重点を置いた授業を実施します。これによって、林業現場で必要とされる人材育成を目指します。

問 学校の抱えている課題と、町や地域への要望は

答 林業科が飯南町に拠点を移してから6年余が過ぎますが、飯南町からの入学生がいません。私達の努力不足もあると思いますが、飯南高校との連携に力を入れたいと考えていますので、協力をお願いします。

学生も地域との関わりを希望していますので、産直市等へ林産物（原木しいたけ等）を出荷・販売、イベントへの出店も出来ればと考えています。



実習風景

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。皆様には輝かしい新春を迎えられた事と心からお喜び申し上げます。

昨年は全国で大災害に見舞われ、本町でも昭和38年に次ぐ豪雪となり、大きな被害を受けました。また、3月の福島原発事故による汚染稲わらにより、本町の畜産は大きな打撃を受けました。飯南町議会としても畜産が衰退しないよう、振興に本腰を入れて取り組まなければなりません。

議会報は議会の様子を皆様にお知らせするため年4回発行しています。ぜひご愛読いただき、議会報に対する皆様からのご意見ご感想をお寄せください。

寒さはまだまだ続きますが、やがて春が来ます。中国山地の真ただ中、自然豊かな飯南町で生産された農産物をしっかり売り込みましょう。

この一年が皆様にとりまして幸多い年となりますようお祈り申し上げます。

議会広報編集委員会

難波 俊司

問

農業大学校の校名が来年度から変わるそうですが

答 県の条例改正により平成24年4月1日から農林大学校林業科として、教育課程の充実を図りスタートします。

「林業科」は西日本唯一の課程ですが、知名度が十分でなく、学生の確保に苦労しています。県民の方に、県の林業に対する姿勢を明確に示すことによって、多くの学生が応募してくれることを期待しています。

